

## 真岡市・ハーヴェイ市 友好都市締結調印式

6月21日（火）、真岡市役所議場で、オーストラリアのハーヴェイ市との友好都市締結調印式がオンライン形式で行われました。両市は、平成15年に真岡中学校とオーストラリア・シニア・ハイスクールが姉妹校締結をして以来、相互訪問やオンライン交流を重ね親善を深めてきました。

式典の中では、両市の魅力を動画で紹介し、代表生徒によるメッセージの交換や、尊徳太鼓保存会による和太鼓の演奏が放映されました。



生徒を代表して英語でスピーチした真岡中学校の山崎美結さん



オンラインで両市の記念撮影

また、記念品の交換が行われ、ハーヴェイ市からは、風景を収めた写真と、3種類の木材で作られた手作りの木製ポウルを、真岡市からは、市内在住の陶芸家井口大輔さんが手掛けた陶製の器と、ハーヴェイ市の市章をあしらった真岡木綿のタペストリーをそれぞれ贈り合いました。



あいさつをするテッ・パイン・ウーさん



## 真岡みらい日本語学校開校

6月15日（水）、旧中村東小学校で、真岡みらい日本語学校の開校式ならびに入学式が行われました。コロナ禍により開校が延期されていましたが、この日温かな拍手に迎えられ、新入生14人が出席しました。

成暲哲（ソンギョン Chol）理事長からは、「成長していく学生一人一人に期待しています。明るい笑顔であいさつができるよう努力してください」と激励の言葉がありました。石坂市長からは「皆さんには将来、真岡と母国をつなぐ橋渡し役になってほしいと思います」と歓迎の言葉がありました。

新入生代表あいさつでは、テッ・パイン・ウーさんが「目標をもって日本にきました。日本の学生として夢に向かって努力したい」と日本語でのあいさつがありました。

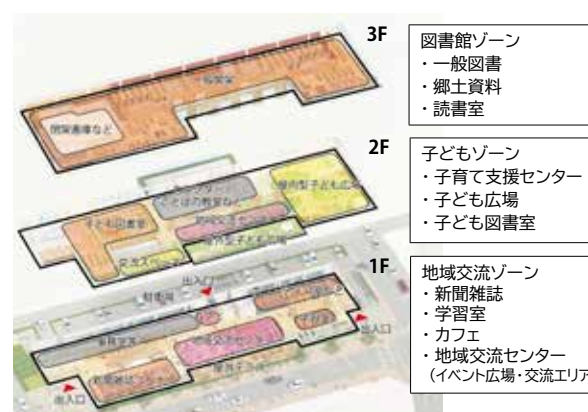
## 「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点について シリーズ① 概要編



現在、令和7年春の開館を目指して設計を行っている「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点についてシリーズで紹介いたします。この施設は、子育て支援センターや屋内の子ども広場、図書館、地域交流センターを備えた複合施設で、第1回目は、その概要についてです。

### Q どんな施設ですか？

A 1階は地域交流ゾーン、2階は子どもゾーン、3階は図書館ゾーンの3階建てです。全ての階が図書館として利用でき、施設内のどこでも本を手にとって読むことができます。現在の図書館よりも閲覧席や学習席を増やす計画です。1階のカフェでくつろぎながら読書を楽しむこともできます。



### Q どうして複合施設にするのですか？

A 子どもから高齢者まで、幅広い世代の方々が図書館を利用し、また、子どもたちの遊びと学び、子育て相談が同時にできる施設を目指しています。例えば、真岡について学ぶ講座に参加した際に、関連する本を借りたり、子どもと一緒に遊んだ後に、絵本を借りたり、子育ての相談もできる場所になります。



施設内イメージ

### Q どうして今つくるのですか？

A 図書館や子育て支援センターは、まもなく築40年を迎えます。これまで老朽化による雨漏りや、空調機器の故障が相次いでおり、今後も利用していくには、それぞれ抜本的な修理が必要となります。そのため、今なら受けられる国の支援を活用して、市の実質的な負担を約17億円に抑え、市民が集い、学び、交流する新たな施設として、建設を進めています。

#### 設計建設費の内訳

設計建設費 38億820万円		
市の実質負担 約17億円	①国庫補助金	②地方交付税
新たな支出 約7億円	③積立金 約10億円	国の支援 約21億円

①公共施設の統廃合を進める自治体を対象とした補助金  
②市町合併後20年までが対象となる国からの財源  
③公共施設の整備のためにこれまで積み立ててきた基金

☎ プロジェクト推進課複合交流拠点整備係 Tel 83-8059 ★今回は「子どもゾーン」についてです。

## それいけ！ まちびと

このコーナーでは、真岡市で活躍する方を地域おこし協力隊が取材し、紹介します。今回も、栗村隊員が「真岡まちづくりプロジェクト」のメンバーを取材しました！



栗村隊員



WEDDING CoCo. 代表  
くぼた ゆき  
久保田 有紀さん

司会業、カウンセラー、飲食店スタッフ、二児の母と、多彩な顔を持つ、久保田有紀さん。「まちづくりは人づくりから、そして環境づくりでもある」「1人の100歩より100人の1歩」をモットーに、個性あふれるメンバーとそれぞれのキャリアを生かして日々活動中。久保田さんは「そこに住んでいる私たちが動き、前進することが大事。まちづくりでは、参加することも、意見を言うことも、ためらわないようにしたいし、ためらわないでほしい」と語っています。最近では、息子さんも参加したいと言ってくれたそうで、仲間の輪が少しずつ広がっています。今後は、結婚相談カウンセラーの仕事に注力したいほか、自ら始めたリユース活動「服福ちゃん」で回収した学生服などのフリーマーケットも考えているそうです。



市HP